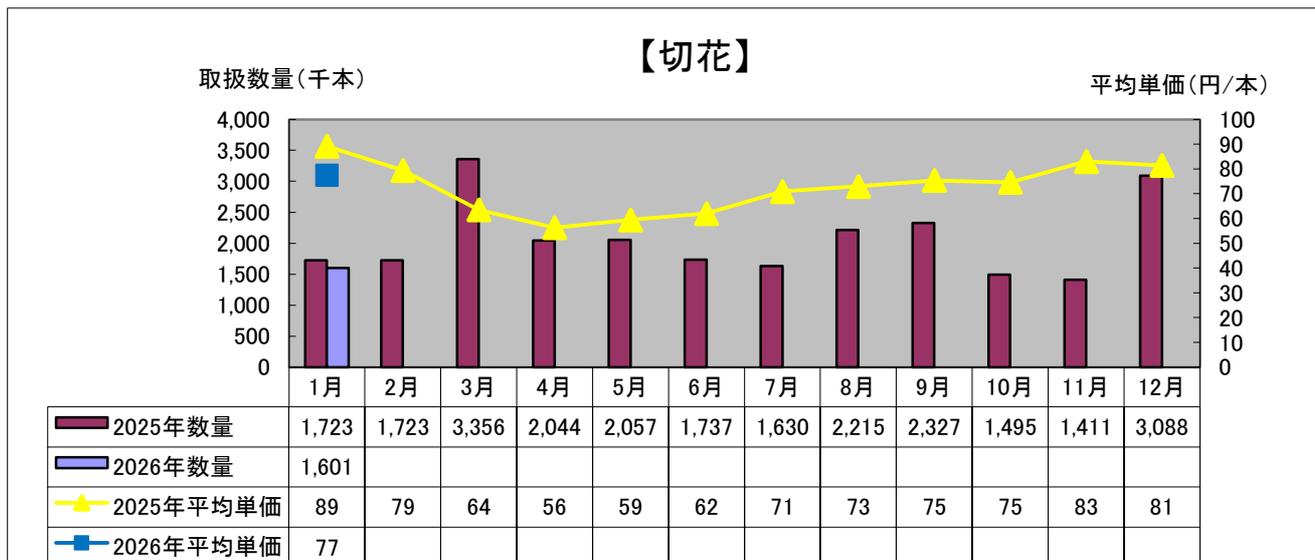
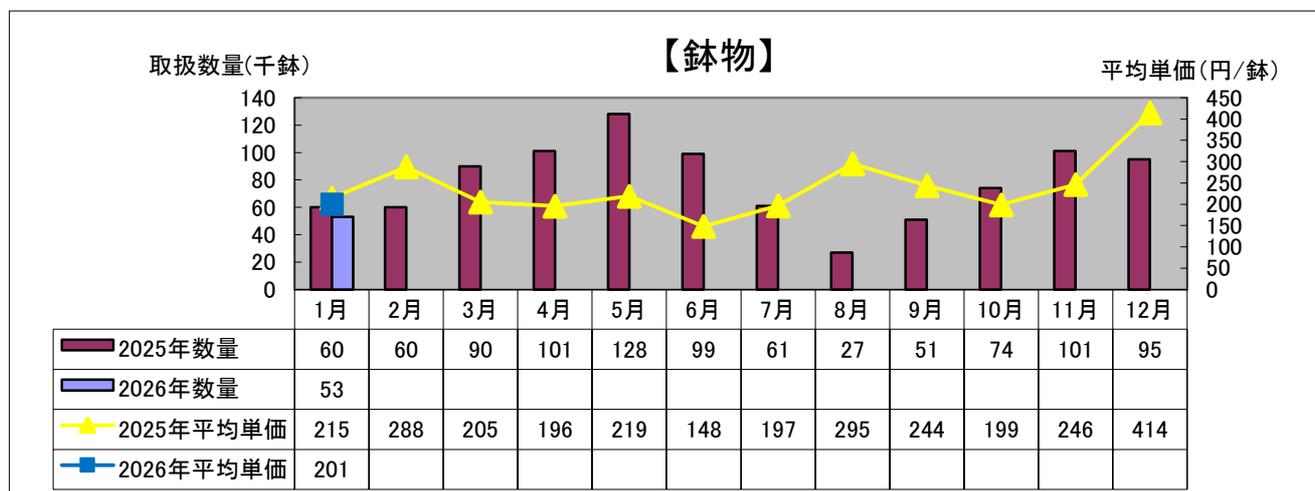


## 令和8年(2026年)1月 花き部 種類別市況



近年、成人式の需要が戻ってきており、1月は洋花を中心に動いてきたが、それ以外の販売は厳しい状況でした。数量はやや減少、平均単価は安く推移しました。

前年比数量 93%、平均単価 87%で終了しました。



上旬から市況は苦戦が続き、下旬まで回復できずにいました。特に花苗は寒さからか市況は上がらなかったが、観葉は思ったよりも市況は好調に動ききました。数量は減少、平均単価はやや安く推移しました。

前年比数量 88%、平均単価 94%で終了しました。